

## 白井第三小学校区まちづくり協議会 第10回設立準備会 議事録

書記:大野 彰  
齊藤一夫

- 日時 令和2年9月13日(日) 14:00~15:30
- 会場 富士センター大集会室
- 出席者 委員25名(本間校長代理出席 大友教頭)  
自治会:岩崎(富士東)、阿部(オージーコートヴィレッジ)、山崎(復四)、中谷(丸山)  
欠席: 高橋委員  
支援チーム 6名 市民活動支援課 3名 市民環境経済部長
- 司会 市民活動支援課 保科係長  
(前回のふりかえりと進捗報告の説明)
- ・第9回設立準備会について
  - ・本日参加の自治会長の紹介  
岩崎会長(富士東自治会)、阿部会長(オージーコートヴィレッジ)  
山崎会長(復四町会)、中谷会長(丸山自治会)

### 会長挨拶(島森会長)

コロナと富士センター工事の関係で不規則な会議となっているがよろしく協力をお願いしたい。

### 本日参加の自治会長の挨拶

富士東自治会 岩崎会長: 今回は第10回目の準備会議であるが、自分には第1回目なのでよろしくをお願いしたい。

オージーコートヴィレッジ 阿部会長:

第9回は欠席であったが、第8回には見学という形で参加した。  
これから皆さんと活発な意見が取り交わされると思われるのでよろしく  
お願いしたい。

復四町会 山崎会長 : 今回が初めての参加であるが、小さな町会で人数的にも年齢的にも  
厳しくなってくるため積極的な参加については難しい面があるので  
理解をお願いしたい。

丸山自治会 中谷会長 : 今回が初めての参加であり、皆さんの意見を聞きながら勉強していきたい。

島森会長: 初めて参加の会長もおられるが、今後準備会の委員として参加して頂ければありがたい。  
⇒4自治会とも準備会委員として参加を了承。

## 議題 1: ワーキンググループのグループ分けについて(資料1参照)

[ワーキンググループのグループ分けの確定]

準備会委員の分野別希望結果で、第1～第3希望を表示。

第一希望者の各ワーキンググループにおける合計は次の通り。

防犯・交通安全 : 6名

福祉・健康 子育て・青少年 : 12名

地域活動参加・担い手 環境 : 4名

地域交流・活性化 地域環境 : 4名

(会議室利用の制限等により各ワーキンググループの人数目標は8名)

各ジャンルの分け方についての意見も出されたが、コロナの関係でグループに分けざるを得ない状況もあり、全体として議論を行うことも念頭に調整の結果、各ワーキンググループの分け方及びメンバーは次の通り。(各委員には別途郵送)

防犯・交通安全(6名) : 橋本、舟野、富沢、山崎(輝)、本間(大友)、古澤

福祉・健康 子育て・青少年 : 福岡、阿部(峯)、井川、斉藤、落合、湯本、大郷、佐山、  
(10名) 川越、高橋

地域活動参加・担い手 環境 : 大野、松田、龍野、藤田、小田桐、山崎(佳)、中谷  
(7名)

地域交流・活性化 地域環境 : 岩崎、森岡、島森、齋藤、鈴木、石田、阿部(佳)  
(7名)

## 議題 2: ワーキンググループの考え方と進め方について(資料2～資料6参照)

[ワーキンググループの意義・会議の進め方の共有]

### ①本日(9月13日)に行うこと

- ・ リーダー・サブリーダーの決定
- ・ 自己紹介
- ・ 第1回目の会議の日程・会場の決定

10月11日(日)午後17時～19時に各グループ別ではなく全体で実施する。

一分野一回2時間を目途とするが、各グループの中では何度でも可能。

### ②第1回目の会議までに行うこと

- ・ 資料 3 取組項目評価シート(個人)《 次回会議までの宿題 》  
…全てのグループで「防災」について検討をすることになるため、各委員は第1回の会議までに作成する。「防災」の場合(1)～(6)の取り組み項目毎に評価・点数をつける。項目ごとに「重要性」、「平常時の実現性」、「with コロナ実現性」について検討し評価を行う。評価方法は各項目で5点、3点、1点の点数を記入し各自の評価を行う。  
これは全ての取組分野ではなく各自のワーキンググループの担当分野について配布を行う。第1回目のワーキンググループにはこれを持参する。

### ③会議で行うこと

#### (1) 資料 4 取組項目評価シート(グループとりまとめ)

… 「評価対象 重要性」、「評価対象 平常時の実現性」、「評価対象 with コロナの実現性」に別れているので、評価された評価対象ごとにとりまとめを行う。即ち「取組み項目」の欄に各担当者名を記載したものを作成し送付するので各自が評価し点数を記入する。そして各ワーキンググループの合計点を書き出していく。各グループでは各自のつけた点数の理由を簡潔に発表する。

#### (2) 資料 5 取組項目評価シート(各項目集計結果)

… 各自の点数と評価の理由が発表されたあと、資料5に最終的な「評価のまとめ」のシートが作ってあるので、資料4の合計欄の数字を書き写す。そして取組み項目に対する皆さんの評価についての意見交換を行う。自分の思っている評価と他の人の評価が異なったり、重要性の認識が異なることがあると思われるのでグループ内で「意見交換」を行う。

#### 【意見交換の内容】

纏まった資料5のシートを見ながら意見交換をしつつ、資料6の「まちづくり計画 取組分野の体系図の例」をみんなで考えながら作成する。分野ごとの「目標」は現在決まっていないので、みんなで意見を出しながら「目標」を作っていく。まちづくり計画は3か年で計画を立てるが、資料5でつけられた「取組み項目の優先順位」の高いものから3か年でやるものを皆さんで集約しまとめて頂く。資料6の「予算」は具体的金額が出てこないと思われるので、イメージするおおよその金額を出して入れていく。

質問(佐山委員)： 点数の付け方で「5点」は何個までといった制限はあるのか？

回答(保科係長)： 上限は無いが、重要な中でも順位付けを行ってほしい。

(松岡課長)： 「5点」の数は特に制限は無い。各委員は第一志望のワーキンググループに所属するためどの取組みも重要であるとの考えがあると思われる。全体で何から取り組んでいこうかと考えた場合マンパワーや予算等の問題が出てくるため事業の取捨選択が必要となってくる。全体のバランスを考えていくためにも順位付けをお願いしたい。

質問(橋本委員)： 資料3は事前に準備をし、資料4、5、6はワーキンググループの中で作成していくということでよいか。資料については各項目ごとに出てくるのか。各担当者はそれぞれの枚数分をもらい作っていくのがワーキンググループの役割と考えればよいか。

回答(保科係長)： その通りで、資料3に関しては全て委員個人が作るもの。それぞれ取組み分野毎のものを郵送する。其々3種類が届くので、次回の

ワーキンググループのためにつけてくる宿題となる。同時に4, 5, 6の資料も送られるが、それはワーキンググループに集まった時に使う資料である。

質問(小田桐): 資料3の(4)で「次女」となっているが、それは「自助」ですね。

回答(保科係長): その通りです。大変申し訳ありませんでした。

### 【意見交換のポイント】

- ①各分野において課題となっていることを確認し、課題解決へ向けた話し合いを行う。  
例えば分野が「防災」では「地域課題キーワード」及び「地域課題の具体的内容」を意見交換の中で意識しながら話し合いをし、課題解決に向かうような方向で取り組みを行って頂く。
- ②どのような場合でも with コロナの視点を忘れずに意見交換を行って頂きたい。
- ③団体の既存の活動と照らし合わせた検討を行って頂く。団体活動の棚卸でもあったが、既存の団体活動と照らし合わせて意見交換を行って頂く。
- ④未来に広がるストーリーを意識して活動を少しずつでも広げていけるように。
- ⑤どれも大切な取組項目であるが、きちんと順位付けを行って頂く。
- ⑥お互いを尊重して、和やかにじっくりと意見交換を行って頂く。

### (3) グループで取りまとめた事項を【資料6】に清書し、事務局に提出する。

提出期限は令和2年12月15日(火)

#### 《意見交換のコメントについての補足》(松岡課長)

取組項目について、①については、もともとはアンケート結果や意見交換の中から課題を見出してきたものです。その課題を解決していくためにこの取り組みが良いのではとつなげてきた。そういう意味から地域課題から課題解決へということを繋げながら意見交換をしていただきたい。②の with コロナの視点についてはコロナ禍の現状でも私たちは出来ることを探していかなければならない。またコロナだからこそやる必要がある。その両方から考えて頂きたいというのが with コロナの視点である。③の「団体の既存の活動と照らし合わせた検討」については、既に第三小学校区の各団体の皆さんによって非常に充実した事業や活動がなされている。それらをこれから話し合うテーマと合わせて見比べながら検討をお願いしたい。今までの既存の活動をさらに充実させていく。あるいは各団体が活動してきたことの中で課題を変え、昨年の発表を通じ共有してきた。そういうことをさらに解決していくという意味で今までの団体の活動或いは地域での活動さらに我々の属するワーキンググループのテーマを照らし合わせてより良い物となるように検討していきたい。

④については、3か年の計画を作っていく。大きなことを1年目にやるのは難しい。そのため徐々に3か年計画で作り上げていく、これが未来に広がるストーリーということになる。

例えば、1年目は知らせることから始める。2年目には小さいながらも参加してもらえそうな

事業を行う。そして3年目には大々的に地域に広げて実施していく。このように3年を掛けての事業となるストーリーとなる。人材が不足しているのであれば1,2年目にはじっくりと人材を発掘し、3年目にはその人材を活かしながら新しい事業を取り組んでいく。このようにつながりを持った地域の発展を目指していく。

質問(橋本)： 次回は10月18日(日)であるが、ワーキンググループとしての部屋の取り方はどうするのか。

回答(保科)： 基本的には富士センターでの会議をお願いしたいが、自分たちが会議を開きたい時に富士センターが開いていない場合には自治会の集会所を借用することも考えられる。空き状況を確認の上で市の方から予約を取ることになる。

回答(松岡)： グループリーダーを中心にワーキンググループの日程調整の中で、富士センターの空き状況を調べ日程が決まれば市に日程を連絡頂き、市から予約をすることになる。それまでの調整をワーキンググループにお願いする。ワーキンググループの会議には、市民活動支援課及び支援課より必ず最低でも1名は出席する。その役割の一つ目はグループの中での進行をつとめること、二つ目はグループ内の意見をまとめること。また次に向けて会議資料が必要な場合には市民活動支援課で準備作成し、メンバーに郵送する。リーダーには日程調整と共に意見交換の際にどの方向性にするのか、そして決定に係ることについてはリーダーを中心に調整し意見を取りまとめていただく。

進行(保科)： 10月11日(日)のワーキンググループは富士センターの大集会室を使い実施する。すべてのグループに共通の「防災」をテーマとして進める。その他のテーマについては各グループに別れて意見交換を行う。

### 議題 3： 今後のスケジュールについて

第1回目ワーキンググループの予定：

10月11日(日)午後17時～19時に各グループ別ではなく全体で実施する。グループ内の連絡についてはグループ内での同意を得たうえで、グループごとの名簿を市民活動支援課で作成しグループに配布が可能。作成するかしないかについては各グループに別れて決定する。了解が取れれば次回のワーキンググループの会議の際に配布が可能。

#### 〈4つのグループに別れ、リーダー及びサブリーダーを選出〉

防犯・交通安全 : 橋本(リーダー)、舟野(サブリーダー)、富沢、山崎:  
本間、古澤

橋本リーダー挨拶: 大変な役で戸惑っているがよろしくお願いします。

舟野サブリーダー挨拶: 皆さんと一緒にリーダーと共にやっていきたい。

福祉・健康 子育て・青少年 : 福岡(リーダー)、阿部(サブリーダー)、井川、斉藤  
落合、湯本、大郷、佐山、川越、高橋

福岡リーダー挨拶: 阿部サブリーダーと頑張ります。

地域活動参加・担い手 環境 : 大野(リーダー)、松田(サブリーダー)、龍野、藤田  
小田桐、山崎(復四)、中谷(丸山)

大野リーダー挨拶: 松田サブリーダーと共にやっています。

地域交流・活性化 地域環境 : 岩崎(リーダー)、森岡(サブリーダー)、島森、齋藤  
鈴木、石田、阿部(オージーコート)

岩崎リーダー挨拶: 森岡サブリーダーと共に頑張っています。

#### 島森会長挨拶

本日の会議はスムーズに進み有意義な会議となり感謝します。

以上